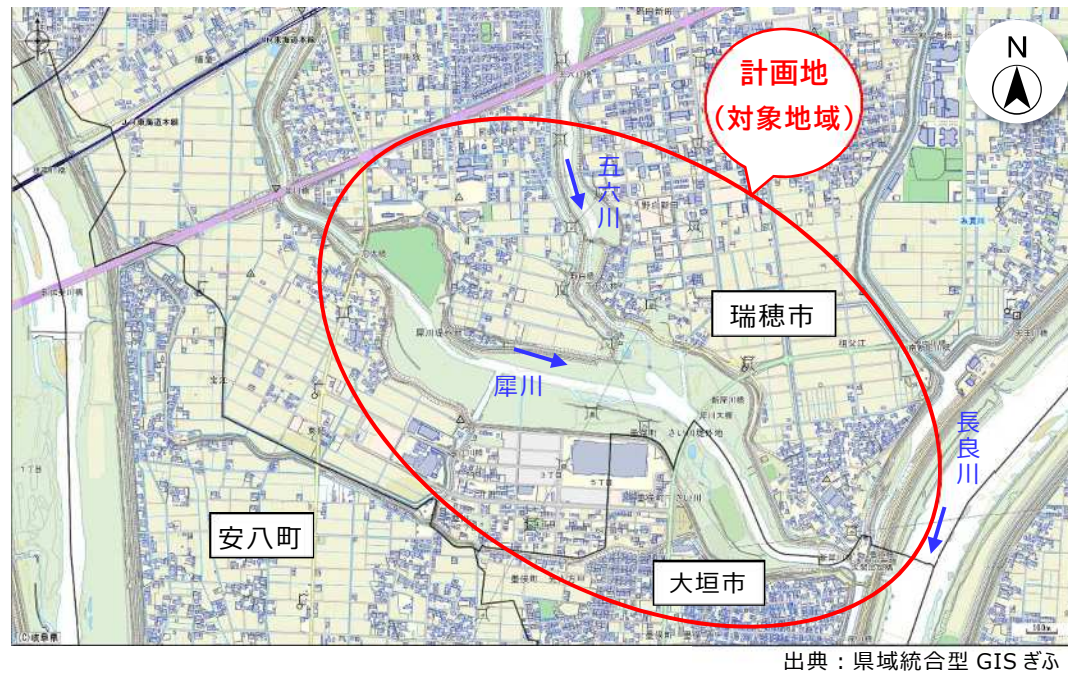


令和5年度
(仮称)犀川・五六川周辺かわまちづくり計画 年度報告



1 計画地（対象地域）の位置図



2 (仮称)犀川・五六川周辺かわまちづくり計画の事業スケジュール

事業の目的

犀川・五六川周辺地域を地方創生の拠点の1つと位置付け、豊かな自然の持つ多様な機能を活かした、“水辺”と“まち”が融合した良質な空間を形成し、にぎわいや交流を創出する。

〔令和3年度〕犀川遊水地グリーンインフラ基本構想の策定

（仮称）犀川・五六川周辺かわまちづくり計画の策定

◆グリーンインフラ基本構想を踏まえ、かわまちづくり計画の検討
〔令和4年度〕

- ・利用者アンケート調査
- ・民間団体へのアンケート調査・ヒアリング調査による連携検討

〔令和5年度〕

- ・社会実験の開催（夏季、秋季）
※継続的な民間団体の参加の可能性検討
- ・かわまちづくり計画検討会の設立・開催（2回）

〔令和6年度〕

- ・社会実験の結果を踏まえた基盤整備計画の作成
- ・関係機関との協議

〔令和7年度～令和8年度〕

- ・基盤整備計画に基づいた施設整備
- ・かわまちづくり計画検討委員会の設立検討

本年度

3 社会実験の開催・評価

かわまちづくり計画の策定を見据え、官民連携による「子育て支援」「アクティビティ」「飲食・物販」等のプログラムの実施・検証を目的に、夏季と秋季に社会実験を行った。

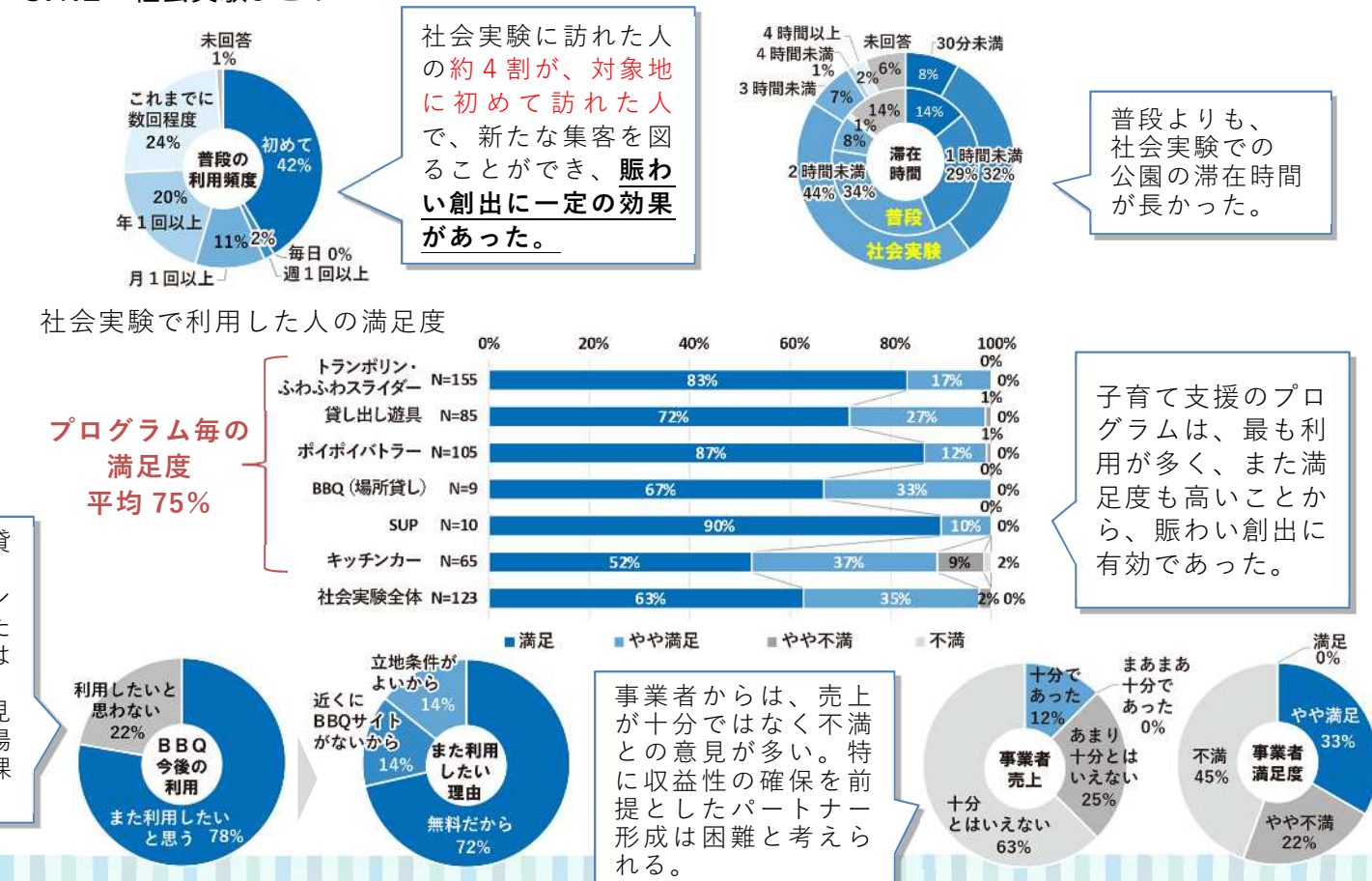
3.1 夏季社会実験

3.1.1 開催概要

名称	犀川・五六川周辺かわまちづくり社会実験 2023 夏季	
場所	さい川さくら公園（瑞穂市区域）及び周辺	
実施期間	令和5年7月22日（土）～令和5年7月30日（日） 9日間	
内容	子育て支援	ふわふわスライダー、トランポリン、貸し出し遊具、ポイポイバトラー
	アクティビティ	BBQ（場所貸し）、SUP
	飲食・物販	キッチンカー
利用者数	446人（推定値）	



3.1.2 社会実験まとめ



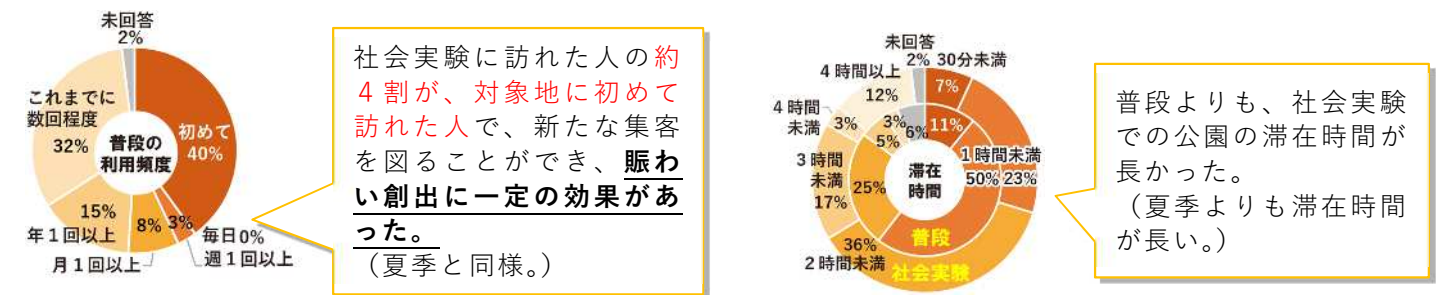
3.2 秋季社会実験

3.2.1 開催概要

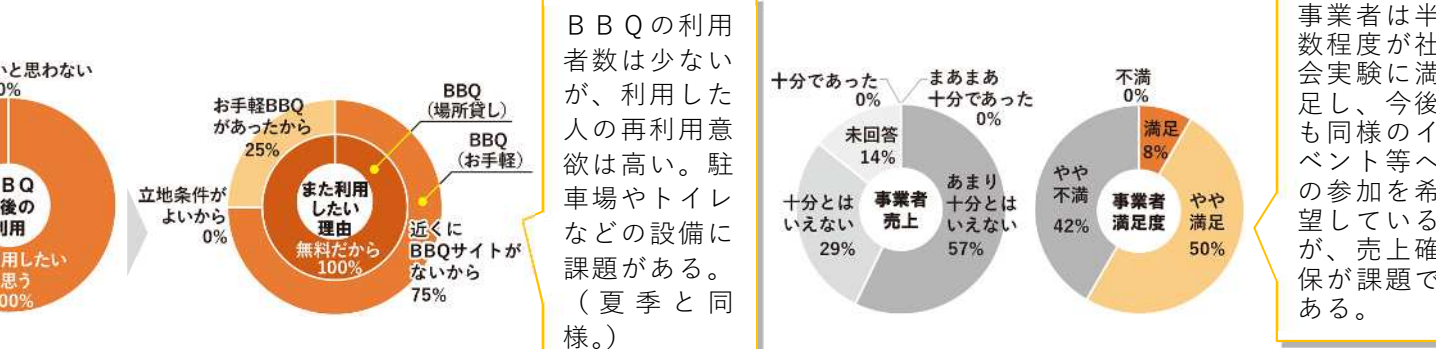
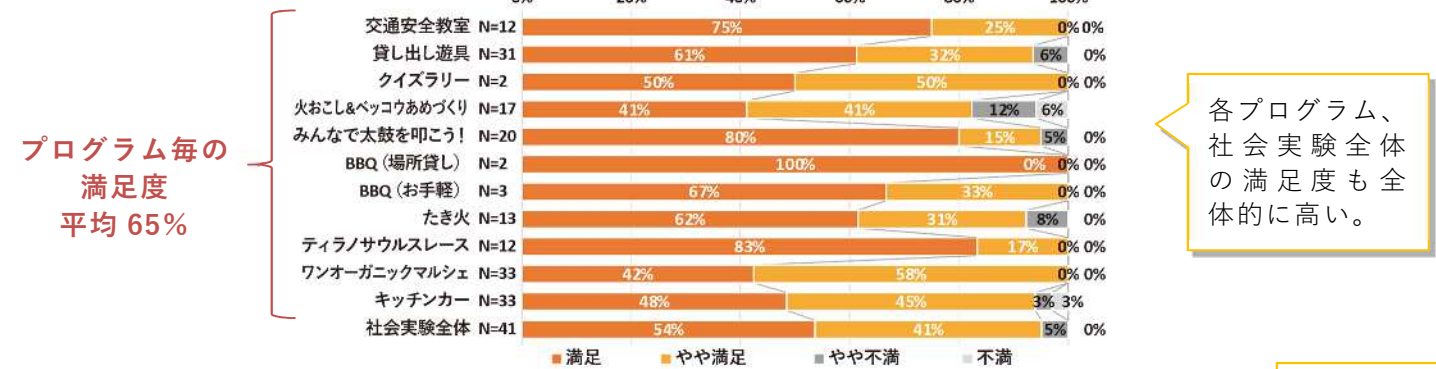
名 称	犀川・五六川周辺かわまちづくり社会実験 2023 秋季	
場 所	さい川さくら公園（瑞穂市区域）及び周辺	
実施期間	令和5年11月17日（金）～令和5年11月19日（日） 3日間	
内 容	子育て支援	交通安全教室、貸し出し遊具、クイズラリー、火おこし&ベッコウあめづくり、みんなで太鼓を叩こう！
	アクティビティ	BBQ（場所貸し）、BBQ（お手軽）、たき火、ティラノサウルスレース
	飲食・物販	ワンオーガニックマルシェ、キッチンカー
利用者数	259人（推定値）	



3.2.2 社会実験まとめ



社会実験で利用した人の満足度



4 かわまちづくり計画検討会の開催

4.1 第1回かわまちづくり計画検討会

開催日時	令和5年10月13日（金）午後1時30分～午後3時
場 所	瑞穂市役所 第2会議室 大会議室
参 加 者	河川管理者（国・県）、大垣市、瑞穂市

グリーンインフラ基本構想の概要、夏季社会実験の報告及び秋季社会実験の開催案について説明を行った。また、今後のかわまちづくり計画を進めていくことについて意見交換を行った。

意見交換では、さい川さくら公園で整備可能な施設についての助言や、整備事例について話題となった。



4.2 第2回かわまちづくり計画検討会

開催日時	令和6年2月8日（木）午後1時30分～午後3時
場 所	瑞穂市役所 第2会議室 大会議室
参 加 者	河川管理者（国・県）、大垣市、瑞穂市

第1回かわまちづくり計画検討会における意見交換の振り返り、秋季社会実験の報告及び近傍のBBQ施設調査の報告について説明を行った。また、国・県・大垣市より、河川公園の事例などを情報提供していただくとともに、今後のかわまちづくり計画を進めていくことについて意見交換を行った。

意見交換では、アクセス（駐車場）、トイレといった具体的な整備内容やこれからの整備方法について話題となった。



5 まとめ

行政と民間事業者と地域住民が一体となり、実現性の高い河川空間を活用したかわまちづくり計画を策定するため、社会実験を夏季と秋季の2回開催した。

社会実験の開催で、新たに人を呼び込むことができ、また通常の公園利用時よりも滞在時間が延びる傾向であったことから、賑わい創出に一定の効果があつた。市内及びその近郊の親子連れが多く来訪することで、子育て支援のプログラムの利用者が最も多く、また、満足度も高いことから、賑わい創出に有効と考えられる。BBQは、利用者数が少ないものの、再利用意欲は高いが、駐車場やトイレ等の設備に課題がある。キッチンカーは、利用者満足度向上の要素となり得るが、事業者側では十分な収益に達していないことから、事業の持続性に関して売上確保は大きな課題である。

したがって、今回の社会実験の結果とかわまちづくり計画検討会での意見を反映して、計画地の中央に位置する河川敷のさい川さくら公園のより一層の活用を念頭に、当該地に適した事業内容やプログラムを検討し、見出していくことが望まれる。

次年度は、本年度の社会実験を踏まえ、課題となっている駐車場などの整備計画を作成した後、当該整備の時期等も踏まえ、改めてかわまちづくり計画の策定期間を検討する必要がある。

